

教科目名	小児保健コンサルテーション		講義	2単位
担当者	金谷 雅代	専攻科	前期	
<p>&lt;講師紹介&gt;  小児病棟等で看護師として活動したのち看護基礎教育に携わっています。子育て支援に関する研究も行っており、教育・研究の知見を活用し、子どもの保健と健康、子育て支援について皆さんと討議しながら講義を進めていきたいと考えています。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  保育活動においてその役割が期待される小児保健コンサルテーションに必要な専門的知識を学ぶ。また、コンサルテーションの基礎となる問題解決手法について学習し、保育活動の実際に活かす能力を修得する。</p> <p>&lt;評価基準&gt;  ディスカッション等への取組状況：40%、課題レポート：60%</p>				
回	講義計画			
1	イントロダクション	小児保健コンサルテーションとは		
2	対象となる子どもの状況（症状）について①	内容は受講者の要望を聞きながら検討する 例) 気になる子どもの症状・反応		
3	対象となる子どもの状況（症状）について②	例) 食生活と栄養		
4	対象となる子どもの状況（症状）について③	例) アレルギー		
5	対象となる子どもの状況（症状）について④	例) 感染症と予防接種		
6	対象となる子どもの状況（症状）について⑤	例) 子どもに多い疾患		
7	親・祖父母の状況について	小児保健コンサルテーションの対象者として		
8	コンサルテーションに役立つ問題解決手法①	考え方や基本的手順		
9	コンサルテーションに役立つ問題解決手法②	問題解決アプローチ		
10	コンサルテーションに役立つ問題解決手法③	質的統合法 説明とワーク		
11	問題解決手法を用いたケーススタディ①	質的統合法 個人ワーク		
12	問題解決手法を用いたケーススタディ②	質的統合法 発表と全体討議		
13	子育て支援について①	Nobody's Perfect プログラムについて		
14	子育て支援について②	子育て支援に関する各種取り組みについて		
15	まとめとディスカッション	保育活動における役割について		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;  教科書：なし 参考文献：①澤田淳 編：最新子ども保健，日本小児医事出版社，2013年  ②衛藤隆 編：新しい時代の子どもの保健，日本小児医事出版社，2014年</p>				

教科目名	家族保健コンサルテーション		講義 2 単位
担当者	原 種孝	専攻科	後期
<p>&lt;講師紹介&gt; 臨床心理士。不登校児、親のカウンセリング、市町村の発達相談。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt; 多様な価値観を持つ家族とどう接していくか。</p> <p>&lt;評価基準&gt; 幅広い視野を持ち、家族を支援していく。</p>			
回	講義計画		
1	オリエンテーション（方向づけ、動機づけ）学習目的の確認、各自の課題		
2	現代社会（背景）と人の価値観（日本社会・家族のあり方などの変化）		
3	対人関係論・コミュニケーションについて		
4	アセスメント		
5	カウンセリング		
6	カウンセリングとコンサルテーション		
7	子どもの情緒の発達と親のかかわり		
8	自己を知るために 精神分析・交流分析・防衛機制		
9	ここまでの振り返り、課題の整理		
10	子どもの心身症（事例）		
11	子どもの障がいについて		
12	他機関との連携（重い障がいのある子と親の会・こぐまの会）		
13	他機関との連携（医療ケア児）		
14	レポート提出（レポートの内容について）		
15	レポートについての振り返り		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt; なし</p>			

教科目名	保育とカウンセリング		講義	2 単位
担当者	松田 昭臣	専攻科	前期	
<p>&lt;講師紹介&gt;  動物実験心理学、カウンセリング、心理療法等が専門。趣味は時代小説、郷土史、庭いじり、川柳。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  保護者の相談に対応できるようカウンセリングの知識と技術を身につける。</p>				
<p>&lt;評価基準&gt;  出席状況、レポート、授業で学びとったこと（ミニレポート）</p>				
回	講義計画			
1	保育とカウンセリングの概要について			
2	積極的傾聴について			
3	共感的理解について			
4	気づきの体験①（自己への気づき）			
5	気づきの体験②（他者への気づき）			
6	気づきの体験③（人間関係への気づき）			
7	人間関係促進技法の体験①			
8	人間関係促進技法の体験②			
9	人間関係促進技法の体験③			
10	ロールプレイ実習①			
11	ロールプレイ実習②			
12	ロールプレイ実習③			
13	保育相談事例の検討			
14	保育相談事例の検討			
15	カウンセリングの応用			
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;  河合隼雄のカウンセリング入門 創元社 2010年</p>				

教科目名	保育とカウンセリング		講義	1 単位
担当者	北 建一	専攻科	通年（後期）	
<p>&lt;講師紹介&gt; 当学園職員。これまで相談場面で実践してきた知識や技術を活かし、保育現場で保護者からの相談に適切に対応できる技術を習得することを目的とする。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt; 前期の授業の継続として、保護者の相談に対応する際に用いるカウンセリング技術について、具体的な事例をもとにしたワークやロールプレイを通して学ぶ。</p>				
<p>&lt;評価基準&gt; ① 出席状況 ② 授業態度 ③ 提出物 ④ テスト（課題レポート）</p>				
回	講 義 計 画			
1	カウンセリングとは何か～雑談との違い～			
2	保育現場でのカウンセリングの進め方			
3	相手を理解するためのコツや方法①			
4	相手を理解するためのコツや方法②			
5	ロールプレイ（クライアント役）			
6	ロールプレイ（カウンセラー役）			
7	テスト（課題レポート）			
8	テストの振り返り、まとめ			
<p>&lt;教科書・参考文献&gt; 教科書は特になし。適宜、関係資料を配布し、授業を進める</p>				

教科目名	保育とケースワーク			講義	2単位
担当者	北 建一		専攻科		後期
<p>&lt;講師紹介&gt;  学園職員。児童相談所や精神保健福祉センターで勤務した経験をもとに、保育の現場で起こる問題への対応について、一緒に考えていきたいと思ひます。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  保育現場で必要なケースワークの理論や技術を含め、自分の特性を理解したうえで、具体的な問題に対して対応していける力を身に付けることを目標としたひ。</p>					
<p>&lt;評価基準&gt;  出席状況、授業態度、提出レポート内容、</p>					
回	講義計画				
1	保育とケースワーク概論1				
2	保育とケースワーク概論2…保育現場におけるケースワークの必要性				
3	自分のクセ、長所、短所を知る1				
4	自分のクセ、長所、短所を知る2				
5	保育所におけるケースワークの実際1（家庭環境に問題のある子ども）				
6	保育所におけるケースワークの実際2（子どもに問題がある場合）				
7	保育におけるケースワークの実際3（児童虐待がある家庭の場合）				
8	危機介入について				
9	苦情処理について				
10	グループワークの基礎1				
11	保護者対応マニュアルの作成1				
12	保護者対応マニュアルの作成2				
13	保護者対応マニュアルの作成3				
14	保護者対応マニュアルの作成4				
15	保護者対応マニュアルの発表				
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p>					

教科目名	音楽療法		講義	1 単位
担当者	桶川 千枝		専攻科	後期
<p>&lt;講師紹介&gt;  知的障害児入居施設にて12年間勤務の後、音楽療法（ミュージック・ケア）を学び、現在、乳幼児から高齢者まで幅広く実践活動を行っている。実践経験を活かし、現場で生かせる技術を指導していきたいと  思います。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  音楽療法の手法の一つであるミュージック・ケアの技術（基本楽曲30曲）を学んでいただき、実演見学を通して、実際に現場での活用方法も学んでもらいたい。</p>				
<p>&lt;評価基準&gt;  出席状況、授業態度、技術習得度チェック、実演見学レポートを加味した総合的な判断で評価</p>				
回	講義計画			
1	概要と実技体験	ミュージック・ケアの基礎知識を学習と実技体験		
2	基本楽曲習得	基本楽曲の音楽構成と利用方法を学習		
3	基本楽曲復習と習得	前授業で学習した楽曲の習熟度をチェックと新しい楽曲の習得		
4	基本楽曲復習と習得	前授業で学習した楽曲の習熟度をチェックと新しい楽曲の習得		
5	基本楽曲復習と習得	前授業で学習した楽曲の習熟度をチェックと新しい楽曲の習得		
6	基本楽曲復習と習得	前授業で学習した楽曲の習熟度をチェックと新しい楽曲の習得		
7	実演見学	園児との実演を見学してもらいプログラムの立て方を学ぶ		
8	実技習得チェックと理論	総合的な技術のチェックと理論を学ぶ		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;  だれでも どこでも いつでも 加賀谷式集団音楽療法 実技編 宮本啓子著  だれでも どこでも いつでも 楽しめる音楽療法 ミュージック・ケア実技編 宮本啓子著  ミュージック・ケア その基本と実際 宮本啓子著 川島書店</p>				

教科目名	遊戯療法		講義 2 単位
担当者	横田真佐恵	専攻科	後期
<p>&lt;講師紹介&gt;金沢市内の病院で30年以上、心理臨床業務に携わっています。資格は臨床心理士と公認心理師です。学生の皆さんの事例への理解には、私自身新しい気づきを得ることがあります。皆さんとの活発なやり取りを通して事例理解を深めることができればと思います。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>「遊戯療法」とは子供を対象に、「遊び」を主な表現・コミュニケーションの手段として行われる心理療法である。「遊び」は子供にとって極めて日常的な外的活動であるが、同時に子供の心のありようと深くかかわり、それを反映している。本講義では、実際の治療例に触れる。事例を通して遊戯療法の理論も概観し、治療の中に表れる子供の心の成長のプロセスを読み取ることで、日常の保育場面で展開される遊びの中にも子供の心のありよう・変化・発達のプロセスを読み取る視点と、それに基づいた子供の心身の健やかな発達を援助する姿勢を養いたい。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>受講態度、講義毎の感想文</p>			
回	講義計画		
1	遊戯療法事例検討①	「人見知りや激しいことを主訴として来談した男児との遊戯療法過程」について検討しながら、遊戯療法の理論も概観する。	
2	遊戯療法事例検討②	「人見知りや激しいことを主訴として来談した男児との遊戯療法過程」について検討しながら、遊戯療法の理論も概観する。また、絵画療法の体験もする。	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p> <p>参考文献</p> <p>「遊戯療法の実践」 河合隼雄・山王教育研究所 編著 誠信書房</p> <p>「遊戯療法と子どもの心的世界」 弘中正美 著 金剛出版</p> <p>「遊戯療法と子どもの『こころの世界』」 安島智子 著 金子書房</p>			

教科目名	遊戯療法	講義	1単位
担当者	新保 雄希	専攻科	後期
<p>&lt;講師紹介&gt;</p> <p>平成16年より金沢市内の認定こども園に勤務し、現在は施設長として、日々の保育の中で現場の保育者とともに実践しているムーブメント教育について、その理論や具体的な活動を実際の子どもたちの様子から学んで頂けるよう努めます。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>ムーブメント教育(movemennt education)は、子どもの身体能力や運動が、心理的諸機能（認知能力・コミュニケーション能力）や情緒と密接不可欠な関係にあり、前者を促進させることにより、後者の発達を促すことができるという考え方に立つ教育です。つまり、身体運動機能の活動や創造的運動の発達を通じて、学習能力、対人行動能力、自己感情や環境との関係意識などの全人的発達を促そうとするねらいを持つものです。このムーブメント教育の理論に基づくこども達の個別支援について、講義や実技、映像資料から学びます。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>最終回のレポート</p>			
回	講義計画		
1	ムーブメント教育とは	ムーブメント教育の特徴や概要の説明	
2	ムーブメント活動の実践1	実際のムーブメント教育実践の様子（映像資料）を視聴	
3	ムーブメント活動の実践2	実際のムーブメント教育実践の様子（映像資料）を視聴	
4	ムーブメントの環境について	ムーブメント遊具に実際に触れる	
5	ムーブメント理論	達成課題と指導のポイント、アセスメントについて学ぶ	
6	まとめ・試験	5回の講義の中での学びについてレポートを作成、提出	
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p> <p>教科書</p> <p>ムーブメント教育・療育による発達支援ステップガイド 小林芳文編（日本文化科学社）</p> <p>参考文献</p> <p>ムーブメント教育の実践②教具・遊具の活用事例集 小林芳文著（学研）</p> <p>ムーブメント教育の実践① 小林芳文著（学研）</p> <p>障害児教育の新領域「自立活動」支援のための&lt;全4巻&gt;小林芳文編著（明治図書）</p> <p>医療スタッフのためのムーブメントセラピー 小林芳文著（メディカ出版）</p>			



教科目名	次世代育成支援と保育		講義 2 単位
担当者	高野 史朗	専攻科	前期
<p>&lt;講師紹介&gt;  当学園園長、児童福祉施設の児童自立支援施設で児童自立支援専門員及び家庭支援専門相談員を担当、その後身体障害者更生相談所にて身体障害者福祉司、児童相談所にて児童福祉司業務を担当して現在に至る</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭支援施策の動向と現状を理解し、地域における様々な子育て支援のサービスの実態について理解する。</li> <li>・次世代育成支援における課題や取り組み、施策について理解する。</li> </ul>			
<p>&lt;評価基準&gt;  現場担当者からの講義や体験を通してのレポート 出席状況 授業態度</p>			
回	講義計画		
1	次世代育成支援とは何か	講義	
2	地域の子育て支援 1	利用者支援事業	
3	地域の子育て支援 2	利用者支援事業	
4	保育所での子育て支援 1	保育現場での子育て支援	
5	保育所での子育て支援 2	保育現場での子育て支援	
6	県の子育て支援の取り組み	子育て支援課担当	
7	子育て支援財団における子育て支援	子育て支援財団	
8	病児保育 1	病児・病後児保育の実際	
9	病児保育 2	病児・病後児保育の実際	
10	児童相談所における子育て支援	児童相談所 虐待対応	
11	その他の子育て支援 1	家庭児童相談室 要保護児童対策地域協議会	
12	その他の子育て支援 2	保健センター 母子保健との連携	
13	その他の子育て支援 3	発達支援センター 障害児支援	
14	最近の子育て支援をめぐる国の動き 1	顧問	
15	最近の子育て支援をめぐる国の動き 2	顧問	
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;  指定なく、現場訪問等を中心に学ぶ</p>			

教科目名	保育内容特別演習		演習	1 単位
担当者	西川 一美	専攻科	前期	
<p>&lt;講師紹介&gt; 幼・小・中高理科の専修免許を有する教育学修士。児童書の出版販売会社で四半世紀を越す。園サポート、子育て支援、図書館コーディネーターの実績をもつ。即現場に生かせる内容を厳選しました。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>今や至るところで、私たちを取り巻く電子メディアが子どもたちに与える様々な影響を知り、蝕まれずに成長発達できるための手段や環境づくりについて学習する。</p>				
<p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>① レポート提出                      ②実技と作品の評価                      ③作文</p>				
回	講義計画			
1	私が育った時代と環境	各自をふりかえり、メディアと文化の変遷をたどる。		
2	生命が生まれる・生命が育つ	発生・発達の遺伝要因と環境要因の違いと実態について。		
3	子どもとメディアの問題	メディアがひき起こす子どもの脳・身体の諸問題。		
4	自然と遊ぶ	自然あそびの際のコツや留意点、保育室環境への取り入れなどを具体的に学ぶ。(実技)		
5	子どもの絵は語る	発達にともなう絵の文化と心理学的意義について。		
6	五感イキイキ 泥だんご	五感に直結したあそびの重要性と楽しさを泥だんご作りで体感する。(実技)		
7	絵の具はこわくない	キミ子方式の色づくりと水彩絵の具の導入について。(実技)		
8	今こそえほんを	絵本の選び方、出会わせ方等、現場ニーズにこたえる。		
9	身近に科学あそび	身近な素材や道具にかくれた「科学」に気づき、楽しくその芽を育てる術を学ぶ。		
10	昔あそびのかがかく	こま・けん玉を中心に伝承遊びの秘密と秘訣を学ぶ(実技)		
11	遊びとおもちゃそのルーツ	おもちゃの起源と変化や特性を子どもの発達と絡めて学ぶ。		
12	積木が育てる力	積木のルーツと特性、管理方法や基本的なあそび方学ぶ		
13	うた・歌・唄	子どものうたの変遷と特性、保育の中の「音楽」の果たす役割について。		
14	育ちを引き出すリズム遊び	子どもが育つのに欠かせない「リズム遊び」のもつ力を脳科学と実例から学ぶ。		
15	私ができること していきたいこと	作文と実技・レポート発表		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p> <p>「メディアにむしばまれる子どもたち」 教文館 田澤雄著作  その他 天候の都合により、授業順の入れ替えの可能性があります。</p>				

教科目名	保育内容特別演習		講義	1 単位
担当者	松田 好子	専攻科	後期	
<p>&lt;講師紹介&gt; 金大附属幼稚園で幼稚園教諭、石川県立保育専門学園等での非常勤講師を経て、現在、大阪芸術大学通信教育部特任講師をしている。また、金沢星稜大学子ども学科で「特別支援保育論」等の非常勤講師をしている。保育現場では、いろいろな気になる子どもが増えています。気になる子どもに寄り添いながら、子どもたち同士が育ちあえる保育・保育環境を模索し子どもとともに育つ保育者となるよう授業を行います。</p>				
<p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>今まで学んできた保育を基盤にして「一人ひとりの子どもを理解する力」をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金大附属幼稚園で、3, 4, 5歳児の保育を参観し、保育者の援助を観察しながら幼児期における教育について考える</li> <li>・発達障害に対する知識を増やし、具体的な支援事例を通して支援方法を学ぶ</li> <li>・インクルーシブ保育を行っている幼稚園を参観し、子どもの様子や保育者の援助を学ぶ または特別支援学校の低学年の授業の様子や同学校の地域支援室の役割について学ぶ</li> <li>・インクルーシブ保育について学ぶ</li> <li>・一人ひとりを大切にしながら、特別に支援を必要としている子どもの将来を見据えた保育を探り、子どもたちが社会の中でより良く生きるための連携等を考える</li> </ul>				
<p>&lt;評価基準&gt; 毎回の授業後のレポート、授業態度、 自己課題レポート（授業のはじめに自己課題を設定し、最終授業の後提出）</p>				
回	講義計画			
1	幼児教育について	保育所保育指針・幼稚園教育要領の改訂と保育について考える		
2	金大附属幼稚園 保育参観	幼児期における教育について考える 金大附属幼稚園で、3, 4, 5歳児の保育を参観し、保育者の援助を観察する		
3	金大附属幼稚園 保育参観	幼児期における教育について考える 金大附属幼稚園で、3 4 5歳児の保育を参観し保育者の援助を観察する		
4	発達障害について	障害のある子どもの将来を見据えて保育することの意味を考える		
5	石川県発達障害者支援センター ー 見学・説明	発達障害者への具体的な支援事例を聞き、支援方法を学ぶ		
6	石川県発達障害者支援センター ー 見学・説明	発達障害者への具体的な支援事例を聞き、支援方法を学ぶ		
7	「一人ひとりを大切にすること」について	一人ひとりを大切にしながら、社会の中でより良く生きるための連携等を考える		
8	白山市立松任幼稚園 または 石川県立いしかわ特別支援学校での保育（授業）参観	インクルーシブ保育を行っている幼稚園を参観し、子どもの様子や保育者の援助を学ぶまたは支援学校の低学年や同学校の地域支援室の役割について学ぶ		
9	白山市立松任幼稚園または 石川県立いしかわ特別支援学校での保育（授業）参観	インクルーシブ保育を行っている幼稚園を参観し、子どもの様子や保育者の援助を学ぶまたは特別支援学校の低学年や同学校の地域支援室の役割について学ぶ		
10	インクルーシブ保育とまとめ	インクルーシブ保育について考える それぞれの子どもの生活・遊び・育ちなどの理解を深め、将来の生活につながる保育について考える		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p> <p>保育所保育指針、幼稚園教育要領 「障がい児保育の基礎」（柴崎 正行編著 わかば社）</p>				

教科目名	保育内容特別演習		演習 1単位
担当者	北村 満	専攻科	後期
<p>&lt;講師紹介&gt;自ら工房「工房ヒゲキタ」を設立。手作りのプラネタリウムとその投影活動を行っている。平成18年より当学園の学生に教材の理解と環境構成の在り方について指導を行っている。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>いろいろな工作を実際に作ってみることによって、技術、知識、楽しさを実感してもらう。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>最終回に各自が素材を持って来て、講師となり工作を指導、制作してもらう。</p>			
回	講義計画		
1	自然素材工作 草花あそび		
2	折り紙あそび		
3	牛乳パックリサイクル工作		
4	ストロー、紙コップなど身近な素材を使った工作		
5	互いに工作を指導、制作		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p>			

教科目名	幼児安全法	講義	1単位
担当者	金沢赤十字病院職員	専攻科	前期 後期
<p>&lt;講師紹介&gt;          全国の赤十字病院が開催している同講座を、病院で幼児安全法指導員養成講習を受講した資格を持った職員が講師となる。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;          2日間15時間の日程で、子どもを事故から守る方法や、病気やけがの手当てに関する講義を受け、最低限子どもを病気やけが、事故から命を守るための最低限の知識を身に付ける。          受講後は「赤十字幼児安全法支援員」の証明書が発行される。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;          2日間にわたる講義の全日程の参加が条件となる</p>			
回	講義計画		
2日間	2日間15時間にわたり、全国的に実施している講習会で用いるテキストを用い講習を実施。 幼児安全法保の説明、子どもにおこりやすい事故とその予防や対策。子どもに起こりやすい病気やけがと、その予防や対処法について学ぶ。		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;          幼児安全法支援員養成講習テキスト</p>			

教科目名	障がい理解		2 単位
担当者	小坂 正栄	専攻科	前期
<p>&lt;講師紹介&gt; 金沢市通園施設・幼稚園に勤務しながら統合保育を学び金沢大学科目等履修で障害に関する種々の単位取得。県・市町村等の委託で障害児・者の相談業務を28年程行っています。</p> <p>&lt;講義概要・授業目的&gt;          幼稚園・施設等における特別支援のサポートを要する子ども・御家族に対して          どのように配慮し、より良く集団生活を送れるかを貰うか導き出し、問題の解決を実践できる保育士となる事を目的とする。行動分析・課題分析・手順書・家族とのコミュニケーション等の実習を行う。現場に役立つ授業を目指しています。</p>			
<講義内容・講義計画>			
1	障がい児の誕生に伴う家族の苦悩 家族の障害受容のプロセスを学ぶ。	9	自閉症児 B君と家族から学ぶ(準備)
2	ダウン症の特徴障害理解とその支援 ダウン症児の保育とその支援	10	自閉症 B君と家族から学ぶ B君とご家族に傾聴する。
3	ダウン症保育の中の課題分析。	11	発達障害児者の立場に立つ。 感じ方・考え方を考える。
4	ダウン症児(Aちゃんと遊ぼう)準備	12	柳下先生 講義①
5	ダウン症児(Aちゃんと遊ぼう) ご家族に傾聴する。	13	柳下先生 講義②
6	ADHDの実際(保護者インタビュー)	14	柳下先生 講義③
7	自閉症児の保育とその支援	15	障がい児保育の理解と技術 まとめ
8	自閉症の理解・その歴史と現在 TEACCHプログラムの取り組み	順番変更あり	
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;          新版ポーテージ早期教育プログラム -0歳からの発達チェックと指導ガイドー山口薫氏 訳          新版 チェックリスト          自閉症だった私へ ドナウィリアムズ氏著          ありのままの子育て 自閉症の息子と共に 明石洋子氏著          講座自閉症療育ハンドブック TEACCHに学ぶ 佐々木正美氏著</p>			

教科目名	障がい理解		1 単位
担当者	小坂 正栄	専攻科	後期
<p>&lt;講師紹介&gt; 金沢市通園施設・幼稚園に勤務しながら統合保育を学び金沢大学科目等履修で障害に関する種々の単位取得。県・市町村等の委託で障害児・者の相談業務を28年程行っています。</p> <p>&lt;講義概要・授業目的&gt;          幼稚園・施設等における特別支援のサポートを要する子ども・御家族に対して          どのように配慮し、より良く集団生活を送れるかを貰うか導き出し、問題の解決を実践できる保育士となる事を目的とする。行動分析・課題分析・手順書・家族とのコミュニケーション等の実習を行う。現場に役立つ授業を目指しています。</p>			
<講義内容・講義計画>			
1	困り感を持つ子供の見え方・感じ方 シュミレーション学習の実践	9	集団の中の発達支援 時間のユニバーサルデザイン
2	集団の中の気になる子 事例①ADHD 児	10	集団の中の発達支援 空間のユニバーサルデザイン
3	集団の中の気になる子 事例②アスペルガー症候群児	11	集団の中の発達支援 手順・順番のユニバーサルデザイン
4	集団の中の気になる子 事例③LD 予備軍児	12	視覚的構造化の実践 支援グッズの制作の実践
5	発達障害者支援法 保育に関する内容の理解	13	保護者との連携の難しさ ロールプレイによる心理の理解
6	集団の中の個別の支援 事例④重度自閉症児の保育	14	問題行動の解決 冰山モデルワークシートの実践
7	発達障がいに関心が付く意義 早期発見から早期介入への道筋	15	発達障がい児・集団の中の個別支援 まとめ
8	家族の心情とその理解 保育士が担える役割	順序変更あり	
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;          コミック会話 自閉症など発達障害のある子どものためのコミュニケーション支援法 <a href="#">キャロル グレイ</a>          発達の気かりな子どもの上手なほめ方しかり方—応用行動分析学で学ぶ子育てのコツ <a href="#">山口 薫氏</a>著          自閉症児の困り感に寄り添う保育 <a href="#">佐藤 暁氏</a>著 <a href="#">俺ルール ニキ・リンコ氏</a>著          発達障害のある子とお母さん・先生のための思いっきり支援ツール—ポジティブにいこう! <a href="#">武蔵 博文氏</a>著          幼児期の発達障害に気づいて・育てる完全ガイド (健康ライブラリースペシャル) <a href="#">黒澤 礼子氏</a>著          合同出版 『ポーター・マニュアル』 小坂正栄共著</p>			

教科目名	地域社会と保育 演習 1単位		
担当者	泉 由美子	専攻科	通年
<p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>近年、子どもを取り巻く環境の変化は著しい。その最も顕著な例は社会問題となっている いじめや不登校、虐待、DV（ドメスティック・ヴァイオレンス）であると言えよう。このような社会の大きな変化に伴い、各自治体や保育機関、福祉機関、教育委員会、各種団体では各種の研修会や講演会、ボランティア活動を積極的に催している。また、芸術・スポーツ・文化における様々な展覧会、公演、イベント等も多く開催されている。</p> <p>本教科目では、これらの外部団体の有用な催しに積極的に参加し「現在」を反映した情報や知識、感性や見聞を広げることを目的とする。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>受講後10日以内にレポート提出をもって受講認定とする</p> <p>評価は総時間数と認定された受講回数をもって行う</p> <p>単位認定に必要な総時間数：30時間以上</p> <p>S：10回、A：8回以上、B：6回以上、C：4回以上、D：3回以下（単位不認定）</p>			
講 義 計 画			
<p>各自治体や保健機関、福祉機関、教育委員会、各種団体などが催す講演会、講座、研修会、ボランティア活動、音楽会、展覧会など外部のイベントに学生が参加し、見聞を広げる。</p> <p>(内 容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、保育関係</li> <li>2、いじめ</li> <li>3、虐待</li> <li>4、DV（ドメスティック・ヴァイオレンス）</li> <li>5、保健</li> <li>6、栄養</li> <li>7、不登校など教育機関</li> <li>8、芸術（音楽、美術）体育・スポーツ</li> <li>9、その他（必要に応じて認可）</li> </ol> <p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 受講種別はボランティア、音楽会、展覧会、講演会（講座、研修）、視察とする。</li> <li>* 受講に際しては必ず本人が申請し、担任からの許可を得ること。 （必要に応じて開催要項などの提示を求める）</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			



教科目名	レクリエーション		講義	3	単位
担当者	高野 史朗		専攻科		通年
<p>&lt;講師紹介&gt;  当学園園長 体育大学卒業 地域のスポーツ推進委員 スポーツプログラマーの資格を有して、地域住民の生涯スポーツのボランティア活動を行う</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーション活動を通して、生活を活性化させることができることを理解する</li> <li>・ニーズに応じた目的を達成するためには決められたルールや道具にこだわることなく創意工夫が重要であることを学ぶ</li> </ul>					
<p>&lt;評価基準&gt;  実践活動 レポート 企画等</p>					
回	講義計画				
1	レクリエーションとは				
2	交流会の企画、運営補助				
3	体育祭の企画、運営補助				
4	踊り流し参加				
5	ニュースポーツ研修会			スポーツでリフレッシュ3回	
6	障害者スポーツ指導者初級指導員養成講習会			日本障がい者スポーツ公認初級スポーツ指導員	
7	ニュースポーツ活動 1			ペタンク ボッチャー カローリング	
8	ニュースポーツ活動 2			インディアカ ソフトバレーボール	
9	ニュースポーツ活動 3			ミニ運動会（親子行事）の企画立案	
10	ニュースポーツ活動 創作			自主ニュースポーツ企画	
11	レクリエーション創作ダンス			準備体操 リズム体操	
12	課外活動				
13	ニュースポーツ活動 4			キンボール	
14	ニュースポーツ活動 5			フレッシュテニス	
15	まとめ				
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p>					

教科目名	造形総合表現		演習 1単位
担当者	林亜耶子	専攻科	前期
<p>&lt;講師紹介&gt;  当学園職員。県立高等学校・特別支援学校の美術教諭として13年間勤務。泉こども園の造形教室も担当している。「上手く作る・描くこと」よりも、造形活動を通じて、身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わうこと、自らのイメージを形にする喜びを感じることを重視し、授業を展開したい。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  作品作りを通して「美術」に対する知識、理解を深め、創造活動を楽しむ姿勢を養う。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;  出席日数+授業態度+提出作品</p>			
回	講義計画		
1	オリエンテーション	オリエンテーション	
2	造形活動における環境づくり	造形活動における環境設定についての考察と実践	
3	消しゴムハンコを作ろう①	保育の現場で使える消しゴムはんこを制作する	
4	消しゴムハンコを作ろう②	保育の現場で使える消しゴムはんこを制作する	
5	手作りろうそくを作ろう①	ろうを、加工・着色して、手作りろうそくを作る	
6	手作りろうそくを作ろう②	ろうを、加工・着色して、手作りろうそくを作る	
7	泉こども園での造形遊び①	<準備>年齢に合った題材を決め、材料等を準備する	
8	泉こども園での造形遊び①	<実践>	
9	泉こども園での造形遊び②	<準備>年齢に合った題材を決め、材料等を準備する	
10	泉こども園での造形遊び②	<実践>	
11	泉こども園での造形遊び③	<準備>年齢に合った題材を決め、材料等を準備する	
12	泉こども園での造形遊び③	<実践>	
13	草木染め 体験	玉ねぎの皮・ヨモギ等をつかった草木染めを体験する	
14	粘土クッキーを作ろう	粘土のような質感のクッキー生地で、オリジナルクッキーを作る	
15	レッジョ・エミリアについて	レッジョ・エミリア教育について学ぶ	

教科目名	体育あそびとボディワーク		講義・演習 1 単位
担当者	藤田 久美子	専攻科	前期・後期
<p>&lt;講師紹介&gt; 当学園職員。体育教師として県内の高等学校に 33 年間勤務。当園に勤務し 3 年目に入る。いろいろな遊び等を通して体を動かす楽しさを伝えていきたい。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt; 子どもたちに提供する運動あそびの実際と留意点について学ぶ。 1 4回～1 5回は研究発表とし、それまでに各自テーマに沿った運動遊びを研究し、発表・意見交換をする</p> <p>&lt;評価基準&gt; 1. 研究発表、出席状況等を総合的に評価する。</p>			
回	講義計画		
1	オリエンテーション	講義の目的について	
2～3	伝承遊び	屋外での伝承遊び	
4～8	野外活動		
9	じゃんけん遊び	じゃんけんを使った遊びの紹介	
10	ボール遊び	ボールを使った遊びの指導	
11	新聞紙で遊ぶ	新聞紙を遊具とした遊び	
12	登山	金沢近郊の里山登山をする	
13	登山	金沢近郊の里山登山をする	
14	救急法	子どもの救急法について	
15	まとめ		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p>			

教科目名	音楽総合表現			演習	1単位
担当者	日向 亜希子	専攻科	後期		
<p>&lt;講師紹介&gt;当学園職員。市立中学校、県立高等学校音楽教諭として、18年間勤務。手遊び、器楽合奏、簡単な伴奏づくり、ミュージカルづくり等を通し音楽の楽しさを伝えたい。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;</p> <p>個人の音楽的能力・表現能力を高め、保育者として幼児の音楽表現活動への理解を深める。  子どもの豊かな感性と表現しようとする意欲を育て、創造性を豊かにするための適切な援助について考える。</p> <p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>練習、コンサート、レポート およびその他の授業のレポート、発表等による</p>					
回	講義計画				
1	ヴォイスアンサンブル・ボディーパーカッション② 伴奏法、コード奏について①基礎編		創作①		
2	ヴォイスアンサンブル・ボディーパーカッション③ 伴奏法、コード奏について②基礎編		創作②		
3	いろいろな楽器に触れてみよう！				
4	クリスマスコンサートの企画① コード奏について③応用編、編曲について				
5	クリスマスコンサートの企画② 練習①				
6	クリスマスコンサートの練習②				
7	クリスマスコンサートの練習③				
8	クリスマスコンサートの練習④				
9	クリスマスコンサートの練習⑤				
10	クリスマスコンサートの練習⑥ クリスマスコンサート リハーサル				
11	クリスマスコンサート（泉こども園）				
12	コンサートのまとめ				
13	音の実験室・いろいろな音を楽しむ				
14	楽器づくり				
15	楽器作りと発表				
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p> <p>その都度資料等を提示する</p>					

教科目名	インターンシップⅠ、Ⅱ、Ⅲ			実習	全12単位
担当者	高野 史朗 泉 由美子 北 建一		専攻科		通年
<p>&lt;講師紹介&gt;          学園職員。それぞれがこれまでに体験した職場経験を活かす形で、学生が現場に出た時に知っていたら良いと思われる施設や機関に関し、現場に触れる形で学んで欲しい。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;          子育て支援、障害児保育、虐待などを含む児童福祉関係の3つの分野をⅠ、Ⅱ、Ⅲに分け、それぞれの分野の関係機関や施設で少なくとも1回以上（1か所の実習期間は一定期間とする）実習を受けるとする。実習先の選択は、本人の希望も取り入れる。</p>					
<p>&lt;評価基準&gt;          出席日数と、実習先の学生への評価と、実習後に提出してもらうレポートの内容により、総合評価。</p>					
回	講義計画				
各90時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野におけるインターンシップ先の選択</li> <li>・インターンシップ先への依頼（時期、期間などについて）</li> <li>・インターンシップの実施</li> <li>・報告書の作成及び提出</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p>					

教科目名	虐待理解と対応	実習	2単位
担当者	北 建一	専攻科	前期
<p>&lt;講師紹介&gt;          学園職員。これまでの児童相談所を含む福祉職場での勤務経験を活かし、保育現場で発見されることが多い虐待問題に対応するために直接かかわりのある機関の理解と必要な知識や技術を身に付けることを目的とする。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;          現在虐待問題がなぜ多くなってきているのか、虐待対応の現場ではどのような対応がなされているのかを学ぶとともに、オレンジリボンキャンペーンへの協力や、保泉祭の場を活用した虐待防止を目的とした啓発活動に協力したい。</p>			
<p>&lt;評価基準&gt;          出席日数と、現場で学んだことをまとめたレポート内容などを総合して、成績を評価する。</p>			
回	講 義 計 画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童虐待の現状の理解</li> <li>・ 児童虐待防止に関わる機関の理解と訪問による勉強</li> <li>・ 児童虐待防止活動への参加や、教材の作成</li> <li>・ 保泉祭などを利用した児童虐待防止を目的とした啓発活動</li> </ul>		
<p>&lt;教科書・参考文献&gt;</p>			

教 科 目 名	児童研究	講義 2単位	
担 当 者	高野 史朗	専攻科	通年
講 師 紹 介	当学園園長、児童福祉施設の児童自立支援施設で児童自立支援専門員及び家庭支援専門相談員を担当、その後身体障害者更生相談所にて身体障害者福祉司、児童相談所にて児童福祉司業務を担当して現在に至る		
講 義 概 要:			
<p>保育に必要とされる自立した職業人として、保育士としての問題発見・問題解決能力を身につけ、対外的なマナー、スキルを習得し、かつ実践することを目的として卒業研究を実施する。</p> <p>さらに卒業研究の発表は、職業人としての行動、保育分野に必要な技術・知識を学びの成果としてその機会を持つことにする。</p>			
評 価 基 準			
受講状況、提出物、発表状況			
講義内容・講義計画			
1, 卒業研究の概要・目的説明			
2～6, テーマ選定のための論文検索・講読とテーマ選定			
7～14, 研究論文作成(対外交渉・実地研究・アンケート等実施)			
15, 研究中間報告			
16, アンケート集計・データ処理について(講義)			
17～22, 研究論文作成(アンケート集計・データ処理)			
23, 研究論文原稿中間提出			
24, 研究論文作成			
25, 研究論文作成・提出			
26, 研究抄録作成			
27, 研究抄録作成・提出			
28, パワーポイント使用について			
29, 発表練習			
30, 発表練習			
教科書・参考文献			
保育実践演習発表抄録集 研究発表論文集(全国保育士協議会)			

教科目名	事例研究			講義 2 単位
担当者	高野 史朗 北 建一	専攻科	前期	
<p>&lt;講師紹介&gt;  当学園職員。両名とも児童相談所、児童福祉施設、精神保健福祉センター等での勤務経験を有す。その経験をもとに、より実践的な知識や技術の習得を目指したい。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  保育場面でよく起こる問題への対応を考える際には、支援者自身の思いだけではなく、子どもや保護者の意向や家庭や地域の状況、周囲の資源の状況などを加味して行う必要がある。授業では事例（架空、体験）への対応を考えることを通して、実践的な支援の在り方が身につくことを目標とする。  また学外で開催される研修会などにも積極的に参加し、知識や技術を深めたいと考えている。</p>				
<p>&lt;評価基準&gt;  ① 出席状況 ② 授業態度 ③ レポート</p>				
回	講 義 計 画			
1	事例研究とは			
2	事例検討会の方法			
3	事例記録のまとめ方			
4	具体的な事例を考える 1（教員から提出）			
5	具体的な事例を考える 2（教員から提出）			
6・7・8	小坂先生研修会			
9	自分のことを知る（自分のくせを知る）			
10	他者の気持ちを知る（相手の気持ちになって理解する）			
11	他者の事例から学ぶ 1			
12	他者の事例から学ぶ 2			
13	事例提示 1（実習を通して）			
14	事例提示 2（実習を通して）			
15	まとめ			
<p>&lt;教科書&gt; 教科書の指定なし。*授業に必要と考えられる資料を、その都度使用する</p>				



教科目名	事例研究			講義 2 単位
担当者	高野 史朗 北 建一	専攻科	後期	
<p>&lt;講師紹介&gt;  当学園職員。両名とも児童相談所、児童福祉施設、精神保健福祉センター等での勤務経験を有す。その経験をもとに、より実践的な知識や技術の習得を目指したい。</p> <p>&lt;講義概要・授業目標&gt;  保育場面でよく起こる問題への対応を考える際には、支援者自身の思いだけではなく、子どもや保護者の意向や家庭や地域の状況、周囲の資源の状況などを加味して行う必要がある。授業では事例（架空、体験）への対応を考えることを通して、実践的な支援の在り方が身につくことを目標とする。  また学外で開催される研修会などにも積極的に参加し、知識や技術を深めたいと考えている。</p>				
<p>&lt;評価基準&gt;  ① 出席状況 ② 授業態度 ③ レポート</p>				
回	講 義 計 画			
1	相手の気持ちを理解する 1（相手の気持ちの理解について：概論）			
2	相手の気持ちを理解する 2（動作や態度を通して）			
3	相手の気持ちを理解する 3（作品を通して）			
4	相手の気持ちを理解する 4（その他の手立て）			
5	町田先生講座参加			
6	柏女先生講座参加			
7・8・9	相手の気持ちを変化させる 1・2・3			
10	周りの社会資源を理解する			
11	社会資源の活用のしかた（事例を通して考える）			
12・13	子どもを支援する資源について調べる（名称、法的根拠、役割）			
14	子どもを支援する資源について（発表）			
15	まとめ			
<p>&lt;教科書&gt; 教科書の指定なし。*授業に必要と考えられる資料を、その都度使用する</p>				